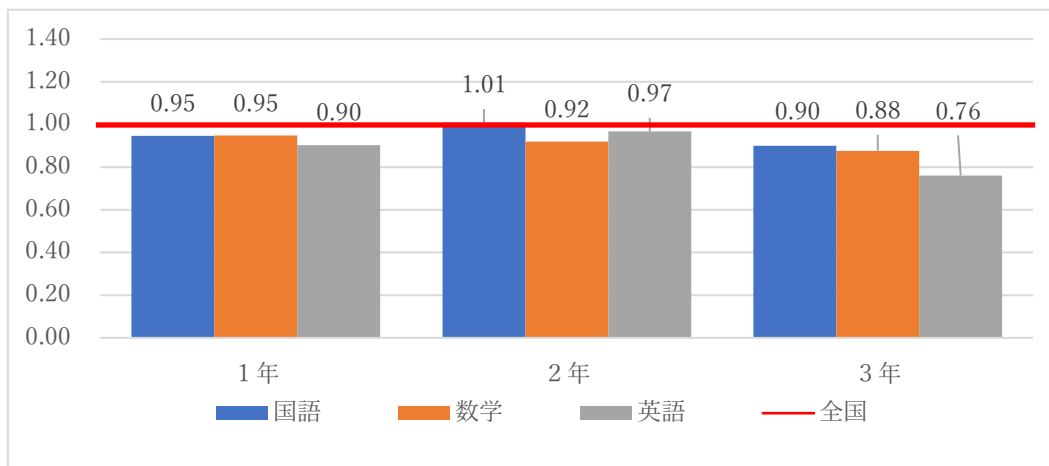


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

中木田中学校区 中木田中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は学習到達度調査、中学3年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	「読むこと」「書くこと」領域では全国を上回り、「文法・語句に関する事項」でも同等の結果であった。今後も、グループ学習やディベート等で、言語活動を大切にした学習活動を推進していく。
	数学	「数と式」領域では全国を上回り、「関数」領域でも全国と同等の結果であった。今後も、説明・表現力を高める授業づくりを推進していく。
	英語	「書くこと」領域では全国を上回る結果であった。今後も、内容を理解しながら聞くスキルを身に付ける目的・場面・状況に応じたインプット活動を行い、語彙力を高め語順を意識したアウトプットの指導に繋げていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「情報の扱いに関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」では全国と同等の結果であった。今後も、内容をとらえ表現する等、言語活動を大切にした授業づくりを推進していく。
	数学	「データの活用」領域では全国平均を上回り、「数と式」領域でも全国と同等の結果であった。今後も、問題文の読解に取り組み、知識や数学的用語を使用して説明する等、様々な問題に自ら取り組む力の育成を図っていく。
	英語	「話すこと（やり取り）」において課題が見られた。今後は、語彙力を高め、必要な情報を選別し、自分の考えを明確にしたアウトプットの指導を行っていく。
	質問紙	「将来の夢や目標を持っているか」「友達関係に満足していますか」等の質問の肯定的回答が、全国平均を上回っている。生徒の主体性を大切にした取組を推進する中で、自己肯定感やコミュニケーションに係る質問の肯定的回答も全国と同等となり、成果が表れている。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

中学校区3校での合同研修・授業交流と共に全国学力・学習状況調査の結果の共有を行い、「考える力」を身に付け、たくましく生き抜く子の育成を図るため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを推進している。各教科における小中一貫カリキュラムを踏まえ、小学6年生の中学校登校日を設定するなど、小中一貫校として9年を通した取組を推進している。

【 学校 】

「自ら学び 共に歩み 未来を拓く子ども」の育成をめざし、ねやがわスタンダードの授業プロセスを大切に、生徒にとって分かりやすい授業と生涯学び続ける力の育成に向けた取組を推進している。水曜日の6限目を設定しての「きらきら☆スタディー」や「家庭学習ノート」による自主学習の取組を推進している。